

【研究課題】

分子病理学的手法による呼吸器感染症重症化因子の探索研究

研究期間：2021年7月12日～2025年3月31日

凍結検体 17 例、FFPE14 例の検査を行った。

COVID-19 関連は、合計 25 例の検査を施行した。SARS-CoV-2 感染歴はあるが、解剖時の肺からはウイルスが検出されない間質性肺炎があった。SARS-CoV-2 感染後にびまん性肺胞障害が生じた場合、ウイルスが消失した後も肺胞障害が慢性化し、血栓などが形成され急死に至る可能性が示唆された。心筋炎は全例が心臓からウイルスが検出されず、心筋にはウイルスが残存していない可能性が示唆された。

COVID-19 関連以外では、インフルエンザ陽性の若年死 1 例、アフリカから帰国直後の急死 1 例（A 群溶連菌感染と判明、5 類感染症届出）、食中毒による死亡 1 例、原因不明の血球貪食症候群 1 例、壊死性筋膜炎 1 例（A 群溶連菌感染と判明、5 類感染症届出）後にブドウ球菌感染と判明、尿路系の乾酪壊死 1 例（結核と判明、2 類感染症届出）の検査を行った。